

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付 A-  
格付の見通し 安定的

### ■格付事由

- 1973年に創業した神奈川県と埼玉県で事業展開する社会医療法人。急性期医療を手掛ける海老名総合病院（神奈川県海老名市/479床）、ケアミックス型の座間総合病院（神奈川県座間市/352床）、東埼玉総合病院（埼玉県幸手市/189床）などを構える。2病院がある神奈川県・県央医療圏での存在感は大きく、2病院は地域医療連携推進法人さがみメディカルパートナーズの中核を成している。関連法人の静岡メディカルアライアンスは下田メディカルセンター（静岡県下田市/134床）の指定管理を受託する。
- 各拠点で安定した事業基盤を維持している。医療機関の経営環境は厳しさを増しているが、状況の変化を捉え、素早く運営や収支の改善につなげる体制を構築している。近年は海老名総合病院を中心に医療機能の強化と人材の確保を進め、収入を着実に伸ばしている。新型コロナウイルス感染症による運営への影響も抑制されている。現在は主要3病院の大型投資を終え、財務面への負荷が最も強まる時期に当たるが、一定の財務構成を維持できている。以上により、格付を据え置きとし、見通しを安定的とした。
- 人件費や光熱費など諸費用が増加する中、従前に比べ利益を確保しづらくなっている点に留意を要する。ただ、人材配置に見合う収入の確保に努めており、今後も一定程度のキャッシュフローを確保できると想定される。23年開業の海老名総合病院・新棟西館の立ち上がりは順調であり、同病院の入院診療単価や病床利用率は新棟開業前に比べて大きく上昇している。その他の主要施設の運営も総じて安定している。人材の確保や定着が進むとともに、地域のニーズや診療・介護報酬改定を踏まえた対応がとられている。
- 海老名総合病院・新棟西館の建設に伴い24/3期末の借入金は増加したが、20%台の純資産比率が維持されている。25/3期以降は借入金の返済が進み、財務構成は緩やかに改善する公算が大きい。中期的に海老名総合病院本館の老朽化対応が視野に入っているが、その実施時期や事業規模はキャッシュフローの状況などを踏まえて判断される見通しである。財務基盤が大きく損なわれる懸念は小さいと考えられる。

（担当）小野 正志・佐藤 洋介

### ■格付対象

発行体：社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年8月21日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：小野 正志
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「医療機関」(2023年8月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル